



令和5年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和4年10月11日

上場会社名 丸東産業株式会社
コード番号 7894 URL <http://www.marutosangyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長
四半期報告書提出予定日 令和4年10月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
TEL 0942-73-3845

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年2月期第2四半期の連結業績(令和4年3月1日～令和4年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年2月期第2四半期	9,039	9.6	185	51.3	289	33.1	200	33.8
4年2月期第2四半期	8,250	0.3	380	19.2	433	14.4	303	17.2

(注) 包括利益 5年2月期第2四半期 280百万円 (22.3%) 4年2月期第2四半期 229百万円 (43.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年2月期第2四半期	126.42	
4年2月期第2四半期	190.95	

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和5年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年2月期第2四半期	17,630	8,301	46.9	5,216.22
4年2月期	15,101	8,084	53.4	5,080.06

(参考) 自己資本 5年2月期第2四半期 8,279百万円 4年2月期 8,063百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和5年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年2月期		0.00		40.00	40.00
5年2月期		0.00			
5年2月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年2月期の連結業績予想(令和4年3月1日～令和5年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	1.4	800	6.7	860	0.2	600	1.0	378.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は、当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年2月期2Q	1,590,250 株	4年2月期	1,590,250 株
期末自己株式数	5年2月期2Q	3,024 株	4年2月期	3,024 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年2月期2Q	1,587,226 株	4年2月期2Q	1,587,357 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予想は現時点で入手された情報に基づいて策定しております。
実際の業績は今後さまざまな要因によりこれらの予想数値とは異なる結果となる可能性があります。本資料の予測に関する事項は[添付資料]の2ページ目を参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の急激な再拡大や、原油価格の上昇に伴う原材料価格の高騰、円安の進行など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、お客様への製品の安定供給を第一に努めてまいりました。

営業面では、「掴めるくん®」をはじめとした機能包材や「MARUTOエコプロダクツ（環境対応品）」「丸東パッケージプロモーション（販売促進策）」の提案を行ってまいりました。また、原材料価格の高騰に対しては、その一部を製品価格に反映する活動を行ってまいりました。

生産面では、原材料価格の上昇分を内部で吸収する努力を行うとともに、原材料調達が困難な状況においてもお客様への安定供給を果たすべく、協力会社を含め一丸となって製品を製造する取り組みを行ってまいりました。

これらの活動の結果、売上高は増収を確保しましたが、原材料価格高騰と製品価格への反映の時間差により、損益面は厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において売上高は、90億3千9百万円（前年同期比9.6%増）、損益面では、営業利益1億8千5百万円（前年同期比51.3%減）、経常利益2億8千9百万円（前年同期比33.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2億円（前年同期比33.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末日における総資産は、前連結会計年度末日に比べて25億2千8百万円増加し、176億3千万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加や建設仮勘定の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末日に比べて23億1千1百万円増加し、93億2千8百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末日に比べて2億1千7百万円増加し、83億1百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、令和4年4月13日発表の業績予想から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,851,585	4,004,233
受取手形及び売掛金	4,539,888	4,937,966
商品及び製品	723,759	868,707
仕掛品	365,751	501,004
原材料及び貯蔵品	345,582	519,351
その他	123,195	95,391
貸倒引当金	△69,652	△115,987
流動資産合計	8,880,111	10,810,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,262,258	2,170,956
機械装置及び運搬具(純額)	881,289	924,639
土地	1,054,490	1,054,894
建設仮勘定	744,440	1,371,876
その他(純額)	82,670	76,606
有形固定資産合計	5,025,148	5,598,972
無形固定資産	192,901	211,607
投資その他の資産		
投資有価証券	886,183	862,685
その他	122,365	150,712
貸倒引当金	△5,533	△4,540
投資その他の資産合計	1,003,015	1,008,858
固定資産合計	6,221,065	6,819,439
資産合計	15,101,176	17,630,107
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,511,964	1,751,794
電子記録債務	2,342,010	2,558,615
短期借入金	698,000	698,000
1年内返済予定の長期借入金	167,848	410,820
未払金	691,780	760,306
リース債務	14,001	14,510
未払法人税等	137,822	135,559
賞与引当金	53,609	56,847
その他	482,752	650,199
流動負債合計	6,099,789	7,036,653
固定負債		
長期借入金	435,380	1,808,484
リース債務	45,601	38,216
役員退職慰労引当金	56,630	59,430
退職給付に係る負債	376,563	382,633
その他	3,200	3,200
固定負債合計	917,375	2,291,964
負債合計	7,017,164	9,328,617

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,807,750	1,807,750
資本剰余金	786,011	786,011
利益剰余金	5,183,476	5,320,646
自己株式	△3,819	△3,819
株主資本合計	7,773,418	7,910,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	254,714	234,485
為替換算調整勘定	2,847	105,116
退職給付に係る調整累計額	32,229	29,126
その他の包括利益累計額合計	289,791	368,728
非支配株主持分	20,801	22,173
純資産合計	8,084,011	8,301,490
負債純資産合計	15,101,176	17,630,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)
売上高	8,250,573	9,039,032
売上原価	6,786,902	7,613,668
売上総利益	1,463,670	1,425,364
販売費及び一般管理費	1,082,707	1,239,966
営業利益	380,963	185,397
営業外収益		
受取配当金	55,715	50,100
為替差益	—	38,412
その他	6,600	23,573
営業外収益合計	62,315	112,086
営業外費用		
支払利息	6,455	5,285
手形売却損	150	197
為替差損	931	—
その他	2,372	2,066
営業外費用合計	9,909	7,549
経常利益	433,369	289,934
特別利益		
固定資産売却益	—	2,562
投資有価証券売却益	13,200	2,490
特別利益合計	13,200	5,052
特別損失		
投資有価証券評価損	1,288	—
特別損失合計	1,288	—
税金等調整前四半期純利益	445,281	294,986
法人税、住民税及び事業税	145,091	117,660
法人税等調整額	△3,556	△22,114
法人税等合計	141,534	95,546
四半期純利益	303,746	199,440
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	634	△1,217
親会社株主に帰属する四半期純利益	303,112	200,658

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)
四半期純利益	303,746	199,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,937	△20,228
退職給付に係る調整額	4,177	△3,102
為替換算調整勘定	27,685	104,858
その他の包括利益合計	△74,075	81,526
四半期包括利益	229,671	280,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,035	279,595
非支配株主に係る四半期包括利益	635	1,371

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	445,281	294,986
減価償却費	240,447	241,421
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,723	38,599
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10,129	6,070
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	990	2,800
賞与引当金の増減額 (△は減少)	995	3,238
受取利息及び受取配当金	△55,740	△50,127
支払利息	6,455	5,285
投資有価証券売却損益 (△は益)	△13,200	△2,490
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,288	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	—	△2,562
売上債権の増減額 (△は増加)	541,084	△336,032
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△107,615	△412,155
仕入債務の増減額 (△は減少)	△695,985	409,722
その他の資産の増減額 (△は増加)	27,344	47,648
その他の負債の増減額 (△は減少)	18,480	187,461
その他	9,414	20,788
小計	410,834	454,654
利息及び配当金の受取額	55,740	50,127
利息の支払額	△6,069	△7,125
法人税等の支払額	△142,215	△100,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	318,289	397,247
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△911,230	△786,636
有形固定資産の売却による収入	—	13,200
無形固定資産の取得による支出	△172,095	△41,830
投資有価証券の取得による支出	△4,354	△4,538
投資有価証券の売却による収入	15,400	2,792
その他	△704	△1,905
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,072,985	△818,917
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△24,824	—
長期借入れによる収入	—	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△83,924	△83,924
配当金の支払額	△63,446	△63,403
リース債務の返済による支出	△6,404	△6,875
その他	△101	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,700	1,545,796
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,670	28,521
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△929,726	1,152,648
現金及び現金同等物の期首残高	3,546,087	2,851,585
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,616,361	4,004,233

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりであります。

- ・売上割引について、従来は、営業外費用に計上していましたが、売上高から控除する方法に変更しております。
- ・有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(収益認識関係)

当社グループは、包装資材事業を提供する単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しておりますが、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)
複合フィルム(製商品)	6,235,204 千円
単体フィルム(製商品)	620,158 千円
容器(商品)	797,144 千円
その他(商品)	1,386,525 千円
顧客との契約から生じる収益	9,039,032 千円
その他の収益	— 千円
外部顧客への売上高	9,039,032 千円

MARUTO

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

丸東産業は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

丸東産業のホームページ



丸東産業のサステナビリティ
に関する取組みのご紹介

